

家庭教育をめぐる現状と課題

1. 家庭を取り巻く社会情勢の変化

【キーワード】

- 人口減少・少子高齢化 ○世帯構造の変容 ○グローバル化の進展
- 長時間労働 ○雇用形態の多様化 ○地域コミュニティ意識の希薄化
- NPOの増加

【現状と課題】

- 人口減少、少子化が進行し、1世帯あたりの人数も減少するなど、家庭を取り巻く社会情勢が変化していることに加え、長時間労働や雇用形態の多様化に伴い家族の生活環境も変容しており、親の子育て等に関して学ぶ機会の減少や、家庭における具体的な知識や経験の不足が懸念される。
- 地域コミュニティ意識の希薄化が進み、地域で子どもと関わる機会が減少する一方、NPOなど志を持った人たちが子育て家庭の支援に取り組んでいる。

2. 家庭の状況

【キーワード】

- 共働き家庭の増加 ○ひとり親家庭の増加 ○子どもの貧困の問題
- 児童虐待の増加 ○子育てやしつけ、教育についての保護者の悩み

【現状と課題】

- 働く保護者が多くなっていることから、企業における子育て家庭への理解や子育て家庭を支える取組が求められている。
- 子育て家庭の孤立や子どもの貧困、虐待などの問題が深刻化しており、家庭教育の充実に向けた支援の必要性が高まっている。
- 子育てやしつけ、教育について悩みを持つ保護者が増加している。

3. 子どもの育ちをめぐる状況

【キーワード】

- 生活習慣（朝ご飯、睡眠時間、学習習慣、読書習慣）の乱れ
- スマートフォンの普及・浸透 ○運動の不足
- 体験活動や遊びの不足

【現状と課題】

- テレビを見たりゲームをしたりする時間が全国平均よりも長く、朝ご飯の摂取や早寝早起きなど、基本的な生活習慣の定着が課題となっている。
- 自宅での勉強時間や予習・復習をしている子どもの割合が全国平均よりも低く、学習習慣の定着が課題となっている。
- 運動をする時間や自然体験、生活体験、友だちとの遊びや家族以外との関わりが不足しがちである。